

待望の志河川ダムが完成

国営道前道後平野農業水利事業の基幹施設として、中国四国農政局が中山川水系志河川に建設を進めていた「志河川ダム」が完成し、10月31日に完成式が執り行われました。式には加戸守行知事をはじめ約80人の関係者が参加し、テープカットなどをして完成を祝いました。

問合せ 市庁舎本館農林土木課 TEL0897-52-1527

志河川ダムの事業経過

国営道前道後平野農業水利事業は、道前平野、道後平野における農業用水の安定的な供給および農業経営の合理化と安定化などを図るため、農林水産省中国四国農政局が主体となつて実施しており、志河川ダムは道前平野地域の新たな用水需要に応えるために計画され、中山川水系志河川の丹原町志川で建設が進められてきました。

志河川ダムの建設工事は、平成11年から旧町道楠窪線の付け替え工事、平成15年から仮排水路工事が行われ、平成16年12月からダム本体の基礎掘削工事に着手しました。工事に当たっては環境配慮基本方針を定め、ダム周辺における環境調査に基づき影響評価を行い、保全対象種を選定するなど、自然環境との調和にも配慮されています。

工事に着手後、平成17年12月にダムコンクリートの打設を開始し、翌年5月17日に定礎式が執り行われました。今年1月には最終打設が行われ、その後、下流護岸工事、取水放流設備工事、ダム管理所建築工事、仮排水路閉塞工事などを経て、10月31日の完成式を迎えました。

ダムの湛水は11月下旬から行われ、平成20年12月までに給水が開始される予定です。また、志河川ダムの周辺は、ダムの下流に創出される水辺空間を活用した環境整備が行われています。

志河川ダムがもたらす恵みの水が道前平野を潤し、県下で屈指の生産力を誇る西条市の農業がさらに発展することが期待されます。

この度のダム建設に当たりましては、地元関係者をはじめ農林水産省中国四国農政局など関係各位のご支援・ご協力を賜りました。ここに改めて厚くお礼申し上げます。

写真で綴る 志河川ダム完成までの記録

▼平成17年3月16日、道路の付け替え工事で完成した「志河川ドラゴン大橋」の石碑の除幕式。橋の名前は中川小学校5年生（当時）の皆さんが付けてくれました。



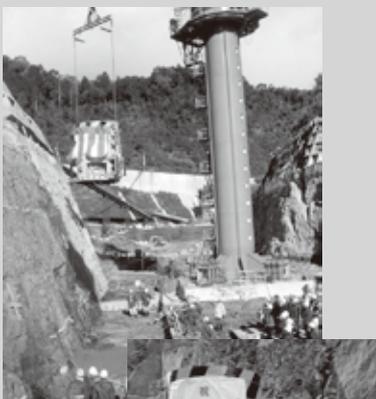
▲着工前の志河川ダム建設現場



▲掘削が完了した建設現場



▲ダムコンクリート打設前



▲平成17年12月14日、ダムコンクリートの初打設式